

改訂日：2013年08月13日

## 製品安全性データシート

## 1. 【製品及び会社情報】

製品名 Corning® SELENOUS ACID, Na SALT  
 カタログ番号：354201  
 会社名 コーニングインターナショナル株式会社  
 住所 東京都港区赤坂1丁目11番44号  
 連絡先 03-3586-1996  
 使用上の制限 研究用試薬

## 2. 【危険有害性の要約】

## GHS分類

物理化学的危険	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分2
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分2（心臓、神経系、肝臓、呼吸器）

	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分2（肝臓、腎臓、中枢神経、血液）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分1

シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと生命に危険

皮膚刺激性

強い眼刺激性

遺伝性疾患のおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

心臓、神経系、肝臓、呼吸器の障害のおそれ

長期または反復曝露による肝臓、腎臓、中枢神経、血液の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・適切な保護手袋を着用すること。
- ・適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・個人保護具や換気装置を使用し、曝露を避けること。
- ・適切な個人用保護具を使用すること。
- ・粉塵、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・環境への放出を防ぐこと

応急措置

- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
- ・飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
- ・皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。
- ・汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- ・眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・曝露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
- ・気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。

保管  
廃棄

- ・漏洩物は回収すること。
- ・施錠して保管すること。
- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

### 3. 【組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別： 単一製品  
 化学名： 亜セレン酸ナトリウム  
 成分及び含有量： 原体(100%) 毒物  
 化学式又は構造式：  $\text{Na}_2\text{O}_3\text{Se}$   
 CAS 番号： 10102-18-8  
 官報公示整理番号（化審法・安衛法）： (1)-507

### 4. 【応急処置】

**吸入した場合** 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
 気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

**皮膚に付着した場合** 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ、または取り除く。  
 皮膚を石鹼と多量の流水またはシャワーで洗う。  
 気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

**目に入った場合** 水で15分間注意深く洗う。その際、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。  
 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球・まぶたの隅々まで水が行き渡る様に洗浄する。  
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。

**飲み込んだ場合** 水で口の中をよくすすぐ。  
 直ちに、医師の診断を受ける。

### 5. 【火災時の措置】

**消火剤** 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂

**使ってはならない消火剤** 棒状注水

**特有の危険有害性** 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。  
 高温面や炎に触れると分解して、有毒なガスを生成する。

**特有の消火方法** 危険でなければ火災地域から容器を移動する。  
 消火作業は可能な限り風上より行う。  
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。  
 消火後も、多量の水を用いて十分に容器を冷却する。

**消火を行う者の保護** 適切な空気呼吸器、防護服を着用する。

### 6. 【漏出時の措置】

**人体に対する注意事項** 作業者は適切な保護具（「8. 曝露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

**保護具および緊急措置** 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。  
 漏出した場所の周囲にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
 密閉した場所に立ち入る前に換気する。

**環境に対する注意事項** 環境中に放出してはならない。

**回収・中和** 漏洩物を掃き集め、密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

**封じ込め及び浄化の方** 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

## 法・機材

## 二次災害の防止策

プラスチックシートで覆い、散乱を防ぐ。  
 全ての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。  
 排水溝、下水溝への流入を防ぐ。

## 7. 【取扱い及び保管上の注意】

## 取扱い

技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気装置・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	使用前に使用説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 飲み込まないこと。 眼、皮膚との接触を避けること。 発散した粉塵、ヒュームを吸い込まないこと。 取扱い後に手、顔等をよく洗う。 取扱い場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。
接触回避	データなし

## 保管

技術的対策	特別に技術的対策は必要としない。
混触禁止物質	強酸
保管条件	施錠して保管すること。
容器包装材料	データなし

## 8. 【暴露防止及び保護措置】

管理濃度 (作業環境評価基準)	未設定
許容濃度	
日本産業衛生学会 ACGIH	0.1mg/m <sup>3</sup> (2007年版、Seとして) TLV-TWA 0.2mg/m <sup>3</sup> (2007年版、Seとして)
設備対策	取扱い場所の近くに、洗身シャワー、洗眼設備、手洗いを設ける。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用する。
手の保護具	適切な保護手袋を着用する。
眼の保護具	保護めがねまたは保護面を着用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。
衛生対策	この製品を取り扱う時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後は顔や手をよく洗う。

## 9. 【物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など	白色固体
臭い	無臭
pH	データなし
融点・凝固点	350°C <sup>*1</sup>
沸点、沸騰範囲	710°C(分解) <sup>*1</sup>
引火点	引火せず
燃焼範囲 下限・上限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度 (空気=1)	データなし

比重 (密度)	3.1 <sup>*1</sup>
溶解度	
水	85g/100ml (20℃) <sup>*2</sup>
有機溶剤	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし

**10. 【安定性及び反応性】**

安定性	通常の保管条件では安定である。
危険有害反応可能性	高温面や炎に触れると分解して、有毒なガスを生成する。 強酸と反応して、中毒の危険性をもたらす。
避けるべき条件	加熱、高温、着火源。
混触危険物質	強酸
危険有害な分解生成物	Se と Na <sub>2</sub> O(加熱分解物)

**11. 【有害性情報】**

急性毒性	
経口	ラット LD <sub>50</sub> 7mg/kg <sup>*1</sup>
経皮	データなし
吸入	データなし
皮膚腐食性・刺激性	強い刺激性 <sup>*1</sup>
眼に対する重篤な損傷・刺激性	強い刺激性 <sup>*1</sup>
呼吸器感作性	データなし <sup>*1</sup>
皮膚感作性	示唆される報告例 1 例あり <sup>*1</sup>
生殖細胞変異原性	マウス骨髄染色体異常 陽性 <sup>*1</sup>
発がん性	セレン化合物 IRIS D、 IARC Group3 <sup>*1</sup>
生殖毒性	胚の着床後死亡、産子数、子の生存度への影響記述あり <sup>*1</sup>
特定標的臓器／全身毒性 (単回)	呼吸器系、肝臓、心臓、神経系への影響 <sup>*1</sup>
特定標的臓器／全身毒性 (反復)	長期又は反復曝露による中枢神経系、腎臓、血液系、肝臓への影響の記述 <sup>*1</sup>
吸引性呼吸器有害性	データなし <sup>*1</sup>

**12. 【環境影響情報】**

データなし

**13. 【廃棄上の注意】**

残余廃棄物	廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

**14. 【輸送上の注意】**

国際規制	
国連番号	2630 (セレン化合物)
国連分類	6.1 (毒物)
特別安全対策	輸送前に容器の破損、腐蝕、漏れなどのないことを確かめる。 直射日光を避け、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
毒劇法劇物に該当するため、同法の規定に従った容器、積載方法に従って輸送する。

#### 15. 【適用法令】

労働安全衛生法	通知対象物質
毒劇法	毒物（指定令第1条：セレン化合物及びこれを含有する製剤）
化管法	第一種指定化学物質（政令号番号 1-242）
船舶安全法	毒物類・毒物
航空法	毒物類・毒物
水質汚濁防止法	有害物質(第二条第二項)
土壤汚染対策法	特定有害物質

#### 16. 【その他の情報】

##### 出展情報

- \*1 : NITE 総合検索
- \*2 : 国際化学物質安全性カード (ICSC)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手配を対象としたものなので、特殊な手配の場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。